

事業所名		セカンドプレイス / RISE / Toybox				支援プログラム		作成日		R7	年	2	月	20	日	
法人（事業所）理念		児童発達支援「社会をあゆむ」 / 放課後等デイサービス「生き抜くチカラを育む」														
支援方針		子どもたちの「やってみよう!」をひきだす 子どもたちの自己選択・自己決定を大切にする 子どもたちの考えるチカラを育む														
営業時間			9	時	0	分	から	17	時	0	分	まで	送迎実施の有無		あり	
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	・生活リズムの調整。（生活習慣等） ・日常生活動作（食事・整容・排泄・更衣・移動・準備・片付け等）に関するプログラムを実施。 ・習慣化の練習。														
	運動・感覚	・身体を大きく動かす運動（姿勢、バランスの調整・強化）、細かい動作（道具の操作等）に関するプログラムを実施。 ・感覚統合の側面から感覚の偏りを評価、プログラムの実施。（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・前庭覚・固有受容覚） ・学校で習う運動の強化（かけっこ・縄跳び・跳び箱等）														
	認知・行動	・身体部位、色、比較、位置、分類、感情概念、時間概念、数、四則演算、図形等に関するプログラムを実施。														
	言語 コミュニケーション	・非言語（身振り、指差し、特有のサイン、ジェスチャー等）、言語、指示理解に関するプログラムを実施。 ・文字を読む、文字を書く、文章を表現する、事実の読み取り、行動のコントロール、感情のコントロールに関するプログラムの実施。 ・														
	人間関係 社会性	・集団スキル（園生活、学校生活）、社会生活、社会的スキルに関するプログラムの実施。 ・ルールの理解、約束事の大切さ ・相手のタイプになって考える機会の提供														
家族支援		・発達、特性に関する状況、成果、相談、助言等 ・目標設定に関する意図、成果、相談、助言等 ・プログラムの内容、意図、成果、相談、助言等 ・生活における課題感の共有 ・きょうだい児に関する相談、助言等						移行支援		・インクルージョンに向けた取り組みの推進 ・事業所で習得した行動を園や学校で同様に行えるように支援する ・練習した場面でない場面でも適切な行動が取れる ・関係機関と児童の心身状況や生活環境などの情報連携を行う						
地域支援・地域連携		・イベントへの参加や公共施設（公園等）を活用し、地域との交流する機会を提供する。また、地域生活に関する保険・医療・福祉・教育等の関係機関、障がい福祉サービス事業所等との連携を行います。						職員の質の向上		月4回の社内研修実施。						
主な行事等		ご家族同士の交流会 ご家族向けの勉強会 他事業所との合同イベント														